

2023宮城県議選 立候補予定者 こども・子育て政策に関するアンケート

回答者名【天下 みゆき】 立候補予定選挙区【塩竈】 所属政党【日本共産党】

問1. 子どもをもう一人、と望む家庭でも経済的理由から二の足を踏む親御さんもいると聞きます。東京都の018サポートや、大阪府の子育て世帯向け食料支援など、経済支援を行っている都道府県もありますが、子どもを生き育てやすい県にするために、宮城県には何が必要と考えますか？

子ども医療費助成の県の拡充、学校給食無償化の市町村への支援など子育て支援の抜本的強化。

問2. 埼玉県議会で提出されていた虐待禁止条例の一部改正案については賛否両論の声があがっていました。宮城県においてもこのような法案が必要と考えますか？

子育て世帯の実態とかけ離れた条例であり、必要ない。学童保育等の予算や体制の強化こそ必要と考える。

問3. 子育て世帯の関心が高いいじめ問題ですが、宮城県としてどう対策していくべきと考えますか？

先生方が子どもたちと向き合える環境を作るため、教員の増員と少人数学級を推進する。

問4. ひとり親家庭には、医療費のサポートがあるものの、一度立て替えた上で後日振り込まれる方法となっており、経済的に厳しいという声があります。これについてどうなっていくべきと考えますか？

償還払い制度をやめて、窓口無料にするべき。

問5. 今年8月に発表された宮城県医療的ケア児等相談支援センター(愛称:ちるふぁ)の調査によると、医療的ケア児は県内に333人います。支援は進んでいますが、一方当事者からはまだ相談してもらいたい回しになるという現状は変わってないという声もあります。医療的ケア児の相談体制としてはどうなっていくべきだと思いますか？

相談支援センターの体制強化と、支援センターの増設、医療的ケア児に関わる専門職の育成。

こども達のために、日本を変える

Florence